

おがわ みか  
小川 美香さん

北海道拓殖バス株式会社 業務部運行課 運転手

1992年生まれ。札幌出身。高校を卒業後、別の企業に就職するも、小さい頃からの憧れだったバスの運転手になるために運転免許を取得した後、北海道拓殖バス(株)に入社。とにかく運転や車が好きで、プライベートでもドライブや洗車、ワックスかけなどをして常日頃から車と接する。



## 子どもの頃から憧れだったバスの運転手に

### きっかけ

父親がバスや大型車の運転手だったことで、幼い頃からバスの運転手が憧れでした。大型車が身近なものであったことが車を好きになったきっかけです。高校生の時、たまたまバスの女性運転手を見かけ、調べてみたら十勝管内初ということを知って幼い頃からの憧れを思い出し、バスの運転手になることを改めて目指すことになりました。それでも、就職した当時はバスの運転免許がなければすぐに運転手になれなかったため、しばらくは品質管理の仕事をしていましたが、「やっぱり運転手になりたい」と思い、前職を辞めて運転免許を取り、現職に転職しました。

### 満足度

免許取り立てだったにも関わらず、感覚を忘れないうちに路線車に乗ってみようかとまず研修をさせていただきました。今では一般路線から空港シャトルバス、帯広・旭川間や帯広・釧路間の都市間バスまで乗務しており、日々充実しています。お客様に「運転手さんだったの!？」と驚かれることもあるのですが、それがきっかけで声をかけていただけるなどお客様と交流できた時は嬉しいです。また、お客様からの質問があった際に丁寧に答えしたことで「詳しく教えてくれてありがとう」と言ってくれたときも非常に嬉しかったです。

### 苦労

運行順路を覚えるだけではなく、バス停の位置や運賃などを覚えていなければならないことや、お客さんから急にどこに行きたいと言われたときに、その場所がわからないことなどです。ただ、男性が多い職場に女性がいることで苦労するというこれはこれまでないですね。優しい先輩が「困ったことはないかい？」など色々声をかけてくださるので、とても過ごしやすい環境だと思います。365日、地域交通の確保として稼働している会社なので、全社員は参加できませんが、忘年会などを開いたりするなど、社員の仲が良い職場です。

### これから

初心を忘れずにより一層技術の向上等を目指し、乗務の範囲をもっと広げられたらと思います。将来的には、経験が必要な札幌への貸し切りバスの運転してみたいですね。運転手になりたての頃は、人をたくさん乗せることや冬道の運転など不安だらけでしたが、先輩運転手が親切丁寧に分かりやすく指導していただき、不安無く乗務しています。私も最初は「自分には無理かな?」と思いつつ、「でもやりたい」と思って運転手になりました。私みたいに「やってみたい!」から入社した方も多いと思いますが、その思いさえあれば大丈夫だと思っています。

私は、幼い頃の憧れからの挑戦でしたが、今は、日々楽しく乗務することができています。ちょっと気になるな? やってみようかな? と思ったら、とにかく挑戦してみませんか?